

住宅メーカー 秋の商戦



「ベルハウスに切り妻屋根を
採用（旭成ホームズ）



ラインアップを増やした「New
イズ・シリーズ」（積水ハウス）

積水ハウスは主力の高級住宅「イズ・シリーズ」でラインアップを増やす。同シリーズは1984年の発売から30年を迎えて、累計7万棟を超えるロングヒット商品。素材からこだわったつくりを高め、「街の財産」として富裕層を中心に顧客の心をつかんできた。

これまでEVLからの給電スムーズに電力を遮断する必要があったが、EV用バッテリー（電力調整装置）の採用で、スマートな給電を可能にした。EVの大型蓄電池を利用することで、エネルギー自給率は最大

資産価値高める
積水ハウスは主力の高級住宅「イズ・シリーズ」でラインアップを増やす。同シリーズは1984年の発売から30年を迎えて、累計7万棟を超えるロングヒット商品。素材からこだわったつくりを高め、「街の財産」として富裕層を中心に顧客の心をつかんできた。

新たに投入するのは
「Newイズ・スティージ」と「Newイズ・ロイエ」。鉄骨住宅で採用する独自構法「New BST」により、2階の床を伸ばして居住空間を広げるとともに軒下の空間を創出。この空間をスリット活用できるようにして、さらに内装を工夫。ダインコノクリーの外壁、「ダイントライト」の重厚感を高める

3階建て強化
旭成ホームズは主力の「ベルハウス（HH）」に、切り妻屋根を採用了。新商品「H-House」を強化する。（池田英輔社長）方針で、既に制震装置を3階建て住宅に標準搭載する施策を打っていいる。新商品はフラット

3階建て強化
3階建て強化

秋の商戦に向け、住宅メーカーはデザイン力に磨きをかけた住宅の新商品を相次いで発売する。素材から始まり、外観デザインに至るまでこだわったつくりで高級感を演出。住宅市場は消費増税後の反動減が続いているが、下期以降から受注の本格的な回復が期待される。景気の波に左右されにくい富裕層を中心、住宅メーカー各社は高級デザイン住宅で需要を取り込んでいく。

各社、デザインに磨き

高級感・重厚感を演出

新たに投入するのは
「Newイズ・スティージ」と「Newイズ・ロイエ」。鉄骨住宅で採用する独自構法「New BST」により、2階の床を伸ばして居住空間を広げるとともに軒下の空間を創出。この空間をスリット活用できるようにして、さらに内装を工夫。ダインコノクリーの外壁、「ダイントライト」の重厚感を高める

3階建て強化
旭成ホームズは主力の「ベルハウス（HH）」に、切り妻屋根を採用了。新商品「H-House」を強化する。（池田英輔社長）方針で、既に制震装置を3階建て住宅に標準搭載する施策を打っていいる。新商品はフラット

3階建て強化
3階建て強化

3階建て強化